

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品製造業

1. <秋田県 精穀・製粉 >  
帰省客の少ない巣ごもりの年末年始となるなど、例年にはない状況の中、各商品の売上の増減予想が難しく、製造・在庫管理に気がついた。
2. <埼玉県 麺類製造業 >  
スーパーなどの小売店は、販売量、価格も適正価格を維持し堅調である。一方依然として、業務用の製品は低迷している。
3. <新潟県 めん類製造業 >  
外食は、昼食需要は回復が見られるが、夕食・飲み屋等の回復は見られず。全体として未だ回復せず、と考える。感染よりも風評被害の発生が心配だ。
4. <富山県 パン・菓子製造業 >  
店頭での販売方法に代わって、インターネット通信販売が好調。お歳暮の販売について、インターネット販売に力を入れている店舗と入れていない店舗に大きな差が見えた。
5. <山梨県 水産食料品・菓子製造業 >  
各組合員は、新たな需要開拓のために従業員からの新製品提案の商品化を試みたり、インターネット通販の強化、オンライン商談の導入などを始めている。
6. <島根県 菓子製造 >  
年末は、GoToトラベルの中止や帰省の自粛により、過去に例を見ない程、売上が悪かった。年末年始は菓子業界にとって一番の稼ぎ時であるが、最悪の年末年始となった。

#### 繊維・同製品製造業

7. <山形県 織物製成人女子・少女服製造業 >  
今後も受注と生産が見込めず大変厳しい状況で、コロナ禍後の商売のやり方など模索しながら現時点では収束まで継続していく必要がある。
8. <福島県 ニット >  
従来は来春夏物の受注が12月に本格化するが、自粛の影響でアパレル自体の春夏物の在庫があり、受注が前年の半分位なので厳しい状況である。
9. <石川県 その他の織物業 >  
コロナ禍で経済が落ち込んでいくと、贅沢品的なものは遠慮されがちとなるが、高級呉服は正にその中にあり、この状態が続くと廃業する事業者が増えると思われる。
10. <福井県 織物工業 >  
中国や米国を中心に自動車市場が引き続き回復基調にあることから、エアバッグ、一部車種の内装材等では、フル生産だが、メーカー、車種により偏りがあり、自動車内装材全体が復調している状況ではない。
11. <山梨県 織物業 >  
組合では山梨県単の事業費を利用し、郡内織物消費回復、拡大支援事業に取り組みをはじめた。ファクトリーショップの紹介やWebによる商品情報などの発信機能強化を図っている。
12. <山口県 外衣・シャツ製造業 >  
技能実習生の入国が始まっているが、入国後の14日間の隔離等を考えるとリスクが高すぎるため、方法を検討中。

#### 木材・木製品製造業

13. <青森県 製材業 >  
スギ低質材は木質バイオマス発電に使用されるため、需要が年々増加し、低質材の争奪が激しい。木質バイオマス用材を扱っている製材所は、コロナ禍にあっても操業は順調といえる。
14. <神奈川県 家具 >  
「家にいる時間」が増えニトリの低価格家具が増加。国内中小業者でも家具の出番と前向きに考え、テレワーク用の家具や飛沫防止スクリーンなど新しい需要に創意をこらす業者も一部に登場している。
15. <京都府 家具 >  
木材業界を取り巻く環境は良くないが、持続可能な地球環境を目指すためには木材の利用は不可欠であり、成長し、増え続ける木材を業界として今後どのように取り組むべきかをアピールする必要がある。
16. <香川県 家具 >  
家具業界全般的に好調だが、当組合においてはバラツキが見られる。新しい生活様式やオフィス環境を重視した商品開発や市場開拓が急務である。
17. <愛媛県 木材 >

外材製品の輸入減少や価格上昇などで、国産材製品への要請が高まっている。原木供給は全国的に不足し、価格は値を戻している。しかし、製品価格への反応は鈍く、元の価格にまでは至っていない。

18. < 鹿児島県 木材・木製品製造業 >

鹿児島県内の住宅着工戸数の急激な下落は無く、プレカット工場は年末にかけて高い稼働率を維持し、荷動きも堅調に推移。製品価格も極端な安値は一掃され、原木の出材量、価格ともに回復傾向にある。

**紙・紙加工品製造業**

19. < 茨城県 段ボール >

売上は前年並みか数%ダウンで推移し戻りつつあるが、顧客の業績は大きくバラつきがあり、EC系・医療系は業績が伸び、アパレル・袋・紙コップ・プラカップ等は30%以上ダウンしている。

20. < 静岡県 パルプ・紙・紙加工品製造業 >

印刷用紙が減少、新型コロナウイルスの影響を受けて低調に推移した。書籍など出版用途の堅調な動きもあるが、感染が拡大している中、今後の動向に不透明感が増している。

21. < 愛知県 段ボール >

ギフト関係では高級品の引き合いが帰省代替りの「帰省暮」と称され活況である。季節物もファミリークリスマスを楽しむ家庭用が比較的良かった。バレンタイン、ホワイトデーの引き合いも続いている。

22. < 三重県 紙器段ボール >

12月は食品関係を中心に段ボールの需要は平年並みになった。得意先により大きな受注格差がみられるものの、需要は低いながらも少し持ち直している。

23. < 京都府 紙製品 >

通信販売の増加で段ボール箱は好調だが、組合員の多くは通販に関係なく、その多くは売上の低下があり、前回緊急事態宣言下の4月から6月期よりも深刻な状況予測である。

24. < 愛媛県 機械すき和紙 >

トイレットペーパーは、春先のパニックとその後の反動減もようやく落ち着き、ほぼ前年並みの水準となってきた。タオルペーパーは引き続き引き合いが多く、受注調整しながら対応している。

**印刷**

25. < 栃木県 印刷業 >

コロナ禍による受注の減少が続いている。特に商業イベント等が軒並み中止になったことで商業印刷の失速が際立っている。

26. < 愛知県 印刷 >

印刷が紙以外にシフトするのに5年かかるところ一気に加速した感がある。チラシ広告に使う費用を顧客サービスに回した方がよいという発想が出てきてチラシの需要減につながっている。

27. < 滋賀県 印刷・同関連業印刷 >

年末も本来ボーナス商戦などで印刷や広告が多くなる時期だが例年より少なかった。ただ、市町や各団体からのウィズコロナ等の助成金を使った販路拡大や広告の利用などで、納期に追われる年でもあった。

28. < 山口県 印刷 >

印刷業界はGoToトラベル、GoToEat等の政策により、チラシ、チケット等の受注により改善傾向にあったが、新型コロナウイルス第3波から、GoToキャンペーンが停止され、再度、悪影響が懸念される。

29. < 徳島県 印刷 >

12月は「ボーナス需要」「お歳暮」「年越し」「クリスマス」等のイベントがあるが、コロナ禍では盛り上がりが見られない。それでも、ウィズコロナ時代のニューノーマルについて準備をしていかなければならない。

30. < 佐賀県 印刷・同関連業印刷 >

12月は従来の年末チラシ等の動きが90%ほどで推移した。商業印刷物は戻りつつあるが、今後の動きは減少傾向にありそうだ。デジタル化、DX社会に対応できるよう各社模索しながら実績を重ねている。

**化学・ゴム**

31. < 東京都 ゴム製品製造業 >

自動車関連需要が回復基調となり、売上は前年の80~90%レベルに回復しつつある。やや明るい兆しがある一方で材料の手配が困難になっている。

32. < 神奈川県 石油製品 >

今期4月~12月の業況は、売上が前期比96%まで回復し、収益は経費の節減効果もあり、前期を上回る見込み。ただし、輸出はコロナ禍の影響によるコンテナ不足が12月より発生し、困難になってきている。

33. < 岐阜県 プラスチック >

自動車関連受注は8~9割ほど戻ったが、物流資材は年末需要が落ち込み、日用雑貨は巣籠もりによる需要の増加が終わった様に感じる。電子材料関連は引き続き堅調に推移している。

34. < 大阪府 石鹼洗剤製造業 >

洗浄剤等全体では、前年同月比で上回っている。コロナ禍での衛生・清潔意識の高まりで、手洗い用液体石鹼のみが唯一高い伸びを継続、台所用洗剤や住居用洗剤も堅調な動きで推移している。

35. < 兵庫県 化学・ゴム製造業 >

小売店の閉店が多く、売場面積が激減している。それに伴い発注量の減少、新商品の開発が出来ない。

36. < 和歌山県 化学工業 >  
コロナ禍の影響の波に組合員間に程度の差があり、原材料の高騰もあるが全般的に前年同期に比べ価格低下していることと、原油安で何とか収益を確保しているが、先行きの不透明感が増している。

### **窯業・土石製品製造業**

37. < 北海道 窯業・土石製品製造業 >  
地域別には、前年同月を上回った分会（協組）は29分会（協組）中、14分会（協組）で前年（増加は12分会（協組））を上回った。前年同月と比較して、増加したのは千歳地区、苫小牧、北渡島などである。
38. < 群馬県 骨材・石工品等製造業 >  
一部地域の災害復旧工事が順調に推移し、骨材、生コン等の建設資材の需要が相変わらず多い。このため労働力、運搬用のダンプが不足している。
39. < 愛知県 陶磁器 >  
組合員の業況は一部工業向け製品製造を除き、例年に比べ大幅減となっている。この状況が続くと陶磁器製品の専門問屋や小売店等の取引先減少が懸念されている。
40. < 岐阜県 陶磁器 >  
量販店の受注は確保できているが、外食チェーン等の業務用陶磁器の需要の大幅な減少により、全体売上は減少。また今後は、需要の創出に向けネットでの販売にも注力していく方針。
41. < 佐賀県 窯業・土石製品製造業 >  
12月の陶土販売協同高は、対前年同月比、対前月比ともに約90%程度で推移する見込み。企業体力が弱っている中での緊急事態で国からの再支援策が待たれる状況。
42. < 宮崎県 窯業・土石製品製造業 >  
来年度の予算作成にとりかかるが、公共工事の削減幅が大きくなりそうであり、明るい材料は見当たらない。逆に言えばこれほど自己改革に適したタイミングはなく、集約化効率化を押し進めていく。

### **鉄鋼・金属製造業**

43. < 栃木県 金属製品製造業 >  
自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも新型コロナウイルスの影響を受けており、売上低下、人件費増加、人手不足の状況が続き、業況が低下した。
44. < 千葉県 機械部品製造 >  
業界によってははっきりと差が出てきている。半導体関係は好調だが、鍛造、住宅用機器等は依然として低調である。
45. < 神奈川県 工業団地 >  
新型コロナウイルスの影響による主要受注先からの年度計画下方修正により、売上高が大幅減少となる中で、付加価値の維持向上を意識した計画を検討している。
46. < 鳥取県 金属加工製造業 >  
建築関係は、県内物件が中心の会社は、仕事の確保が難しいところもあるが、県外の物件を確保出来る会社は十分に仕事がある。
47. < 島根県 非鉄金属製造 >  
建設機械関連が好調（昨年比25%増）。他業種も昨年並み。人員不足気味だが、先行きが不透明であるため正社員募集に二の足を踏んでいる状態である。
48. < 福岡県 鉄素形材製造業 >  
原材料のスクラップの市況価格が未だに上昇傾向が続いている。公共関係は現在も順調、船用関連が低調ながらコンスタントに受注出来ている。

### **一般機器製造業**

49. < 山形県 その他の電気機械器具製造業 >  
機械部品製造業はコロナ禍で関東・関西地方に出張に行けず、メールで受注活動実施しているが、商談は厳しい状態。組合員の中には5G需要で忙しい事業者もあり、中には工場増設予定の案件もある。
50. < 福井県 機械工業 >  
米・中向けの自動車関連や電子部品関連が好調であるが、製造ラインの増設など、我々の業界への影響はまだまだ先である。業界全体の更なる景気回復を期待している。
51. < 三重県 伊勢 >  
経済活動の再開で景気は緩やかに持ち直している。政府が打ち出している政策効果はあると感じている。業績は底打ちし、改善に転じたと思うが、投資は見送る動きになっている。
52. < 山口県 一般機械器具製造業 >  
企業の設備投資減少に伴う減産によって、売上が昨年の3割減の組合員もある。回復のペースが鈍く、再び先行き不透明の状況にある。
53. < 徳島県 機械金属 >

熟練技術者をはじめ従業員の確保難、原材料価格その他の経費の増加なども、直面する経営上の課題として見受けられ、依然として先行きの見通しが不透明である。

54. <大分県 カメラ製造 >

カメラ部門での工場生産については新型コロナウイルスの影響は特に受けていない状況である。稼働についてもほぼ回復している。

### 電気機器製造業

55. <群馬県 民生用電気機械器具製造業 >

新設を伴わない既存設備の現地改造やメンテナンスの案件は引き合いが増加傾向にある。企業の設備投資を控える傾向が強まっているので、今後もこれらの需要が増加する見込み。

56. <長野県 電子機械器具製造業 >

製造業においては他業種と比較するとやや持ち直し感があります。昨年9月以降、売上の低下に歯止めがかかり、休業状態がかなりのところで改善されています。

57. <静岡県 電気機械器具製造業 >

家庭用エアコンは冬に入っても需要は堅調であり、生産も順調に推移している。業務用エアコンは海外需要の増加に対して海外工場と連携して増産対応している。

58. <愛知県 配電盤 >

新型コロナウイルス対策で製品検査についてもリモート立会へ移行する盤メーカーが増えている。業界としても、新型コロナウイルス対策及び省力化のため推奨している。

59. <京都府 電気機械器具製造業 >

新型コロナウイルス第3波の影響を受け、営業活動が停滞し受注の減少が認められる。リモート会議の利用が増加し、ビジネススタイルの変化に対応すべくITリテラシーを早急に高める必要がある。

60. <福岡県 電気機械器具製造業 >

新型コロナウイルスによる組合員の業況は大きな変化は見受けられないが、外国人技能実習生の受入れに関しては、12/28より入国禁止となり再度受入れが不可能となった。

### 輸送用機器製造業

61. <群馬県 自動車・同附属品製造業 >

景気の乱高下を感じながらも全体としては右肩上がりを感じた年の終わりとなった。自動車関連は前月に続き前年同月比を上回り、自動車メーカー復活の兆しがあるように思える。

62. <神奈川県 指定業者(船舶) >

造船の最大の原材料費である鉄鋼価格が高騰している。主原料の鉄鉱石・スクラップ石炭などの価格が高騰し、メーカーは適正価格の構築が急務となっている。

63. <山梨県 電気機械器具製造業 >

航空機が減産され、大手メーカーによるサプライヤーの制限によって親会社が航空機産業から除かれ、事業継続に大変不安な状況におかれている。宿泊業や飲食業などと同様に存続の危機に陥った状況である。

64. <静岡県 輸送用機械器具製造業 >

ワクチンの国内接種が早くても令和3年6月以降と考えると、来年度事業計画、収支予算の立案も不確定要素が多く、予定としても基準の取り方が難しい。総会、理事会の開催も本年並みの工夫も必要である。

65. <三重県 輸送用機器製造業 >

人材派遣会社を活用している企業では外国人派遣労働者を日本人人材に置き換える動きが多くみられるようで、今後の外国人派遣労働者の仕事先不足が懸念される。

66. <愛媛県 造船 >

造船業界全体として仕事量は減少し、人員削減等でしのいでいる状況。外国人労働者の入国計画があったものの、入国のめどが立っていない。帰国時期が迫る外国人労働者の特定活動への変更を進めている。

### その他の製造業

67. <東京都 スポーツ用品製造業 >

サッカー市場は他の競技と同様に新型コロナウイルスの影響を受けた。屋外スポーツであり、需要が回復してきたものの、元の状態に戻るには時間がかかる。ネット販売が堅調な組合員も見られる。

68. <神奈川県 工業中心の複合業種 >

世界的に設備投資の抑制傾向が続き、プラント・工作機械等の受注が減少するものの、中国の回復が顕著である。米国や日本国内を含む自動車関連も回復基調である。

69. <石川県 漆器製造業 >

展示販売会は開催されるようになってきたが、販売につながる来客が少ない。観光は、GoToキャンペーン停止の影響もあり、前年比で5割ほどにとどまり、今後が見通せない状況である。

70. <長野県 漆器製造業 >

収まる事を知らないコロナ禍で、「GoToキャンペーン」がどのように取り扱われるかにより、取引顧客の購買力に多大なる影響が出るのではないかと危惧される。

71. <奈良県 靴 >

地域ブランド靴「KOTOKA」の展示体験コーナーを高島屋大阪店で開催並びにSNSで発信したことにより、奈良が革靴の産地であることの認知度を高めている。

72. < 香 川 県      綿寝具      >

12月は前月から続く防衛省の仕事があり、昨年と比べ、小売業の売上が増加した。同業他社も自衛隊の布団に関わり、売上を出している。また、コロナ禍でもネット販売をしている店が売上を伸ばしている。

## 《非製造業》

### 卸売業

73. <岩手県 各種商品卸売業 >  
GoToトラベルの一部停止により、土産品が激減したが、巣籠りの影響からかスーパーなどの小売り向け商品が大幅に増加した。
74. <宮城県 再生資源 >  
鉄スクラップ価格が12月に入っても急騰が止まらず、価格は前月末より1万円以上、上昇した。海外市況も大きく上昇しているが、コロナ禍による供給量減少が需要増を吸収しきれていない。
75. <千葉県 医薬品卸売 >  
医療機関への受診抑制は徐々に回復してきた。また、季節性インフルエンザが昨年と比べ、流行していないことで関連薬剤の売上がほぼゼロに等しく、前年同月比で減少している。
76. <広島県 卸売業 >  
コロナ禍で新規開拓は現実的に困難であり、収益改善に向けた経費削減も限界にあり、新規事業の取り組みなど、業態・事業のあり方の見直しなどを模索・検討する企業が見られ始めた。
77. <高知県 生鮮魚介卸売業 >  
マグロは例年より入荷が減り売上に影響。カツオは例年になく12月に入荷が好調。小物のお荷は例年通り。飲食店が時短営業になり売上が大きく減少している。
78. <熊本県 各種商品卸売業 >  
年末にかけてスーパー向け食品や家電の売上は昨年を下回ることはなかった。建設資材は熊本地震後の個人住宅資材や豪雨での土木資材の需要があり、新型コロナウイルスの影響は少ない。

### 小売業

79. <青森県 石油小売業 >  
販売利益については販売価格への転嫁が遅れ、値上げ幅も少なく販売収益は減少した。人手不足も解消されず、また冬場に入り灯油の配達などに人員をとられ給油所の現場従業員が不足している。
80. <千葉県 中古車仕入・販売 >  
令和5年10月1日から適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入されるので、組合員へ周知を開始した。
81. <東京都 青果小売業 >  
秋口の好天続きの影響で豊作となり、大量の野菜が市場に入荷された。しかし、需要と供給のバランスが崩れているため、葉物野菜価格は例年の約3割下落した。
82. <三重県 電器 >  
商品別は大画面有機ELテレビ・液晶テレビ・暖房対応エアコン・コロナ関連空気清浄機が好調で販売を牽引している。また、空気清浄機等は生産が受注に追いつかず継続して品薄が続いている。
83. <岡山県 家具 >  
10～12月に中止していた店内イベントを再開、新型コロナウイルス対策をしながらの実施は売上増に繋がった。
84. <長崎県 食肉販売 >  
新型コロナウイルスの感染防止が止まらず、内食需要の増加、外食等の業務用需要減少の動きは、益々顕著になっている。特に忘年会等が抑制され宴会需要が激減したが、小売の方は比較的順調であった。

### 商店街

85. <宮城県 商店街 >  
コロナ禍の世の中を明るくしようとGoTo商店街事業でイルミネーションの充実を図っていたが、GoTo中断となり、既存のイルミネーションも消灯する事態となり、より一層暗い商店街が現出してしまった。
86. <秋田県 商店街 >  
恒例の年末セールもコロナ禍で盛り上がり欠け、各店苦戦状態で年の瀬を迎えた。新年からは新しい生活様式に対応した小売の在り方を組合として全加盟店と協力して創造する必要を感じている。
87. <群馬県 商店街 >  
前月に続きGoTo商店街事業を利用したイベントを開催し、前回以上の売上の店舗が多かった。商店街に望むことで最も多かったアンケート回答は「今回のようなイベントを定期的で開催してほしい」であった。
88. <三重県 商店街 >  
GoToトラベルの停止により、クーポン加盟店も少なからず影響を受けている。ただ年末に再び市より支給された一人一万円分の地域商品券は利用率も高く、落ち込んだ消費を若干ではあるが活性化させた。
89. <兵庫県 商店街 >  
年末に核店舗の関連店舗スタッフが新型コロナウイルスに感染し、年末の自宅待機の風潮、及び里帰りの顧客も例年に比べ少なく、繁忙期の売上がショッピングセンター全体で予想以上に減少した。
90. <大分県 商店街 >

大都市の感染状況と大分のような地方都市での感染状況は大きく異なっているにもかかわらず一緒にたん  
に報道されることによって影響を受けている。メディアの報道の在り方に疑問を持たざるを得ない。

## サービス業

91. <宮城県 警備 >  
施設の警備業務に従事する警備員は、特に感染の脅威に敏感である。人員に限りがあるため、新型コロナ  
ウイルスに感染した場合の、代替要員の確保は極めて難しく、交通誘導警備員も同様である。
92. <石川県 旅館、ホテル >  
対前年比で入込数74%、総売上85%、消費単価115%であった。GoToトラベルの恩恵で入込回復基調と消費  
単価UPが伸長していたが、突然の年末年始のGoToストップにより、大幅なキャンセルが発生した。
93. <三重県 旅館 >  
エビデンスもないままにGoToトラベルが批判され、突然12月28日より1月11日までストップがかかったた  
め、年末年始はどこも予約で連日満館であったのが、キャンセルの嵐で、残ったのは20~30%程度だった。
94. <島根県 道の駅 >  
新型コロナウイルスが急激に増加し、売上が減少している道の駅がほとんどで、時短営業を行っている  
ところもある。当道の駅は、年末商品(しめ飾り、赤貝等)の販売が好調で、前年並みの売上を達成出来た。
95. <愛媛県 ビルメンテナンス >  
コロナ禍で、県内の有効求人倍率は低下しているが、清掃業界では人手不足の状況が続いており、当組合  
直営事業でも欠員が生じている。
96. <沖縄県 ホテル旅館業 >  
年末年始のGoToトラベル中止の影響は大きく、良いところでは中止前の稼働率が90%になっている施設も  
あったため、経営悪化が加速するであろう。

## 建設業

97. <宮城県 シーリング工事 >  
近々の大きな問題はやはり人手不足と安定した業務量の確保である。組合として、人材交流の定義づけを  
行い連携を密にして繁忙期、閑散期の対応に努めたい。
98. <富山県 鉄骨・鉄筋工事業 >  
状況は先月とあまり変わらないが、東京製鉄の全製品1万円値上げの発表により、鋼材の手配が難しくなる  
と予想され、価格競争は回避したい。
99. <長野県 総合工事業 >  
降雪も予想され、昨年ほとんど稼働しなかった除雪作業等も加わりそうである。企業の設備投資はコロナ  
禍で、停滞気味。個人住宅等は来年度に向けての案件が盛り上がりつつある。
100. <大阪府 タイル工事業 >  
年末を迎え、来春竣工予定のマンション・住宅工事の最盛期に入っており、仕上工事が進行中、タイ  
ル業界も潤っている状況にある。
101. <長崎県 建設業 >  
コロナ禍で、工事を止めれば専門業者は他の現場へ流れ、工事を再開しても戻って来てもらえないリス  
クがある。専門業者の人手不足がより深刻になる。
102. <鹿児島県 建設業 >  
2021年は「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」が動き出す。地方公共団体の財政が逼迫  
し、公共事業の在り方が問われている中、近年の豪雨災害等に対応するためには期待せざるを得ない。

## 運輸業

103. <埼玉県 運輸業 >  
前月に比較すると良くはなっているが、昨年同月比に対しては、5~10%の売上減となっている。但し、5  
~6月からは回復の兆しは、かなり見えている。
104. <三重県 トラック >  
12月になってコロナ禍の影響が長引く中、巣ごもりによる宅配需要は依然好調を維持している。回復基調  
にあった製造業を含め全体としての先行きが読めない事から、停滞傾向で推移している。
105. <京都府 タクシー >  
タクシーは公共交通機関であり「タクシーがない」ということは避けねばならず、どこかがその任を負っ  
ている。今の状況が続けばタクシー業界として崩壊する。
106. <島根県 道路貨物運送 >  
成約運賃指数では運賃面においても改善傾向が伺える数値を示した。一方コロナ禍で、物流を巡る環境は  
今後更なる影響が懸念され、燃料価格も上昇傾向にあり経営環境は一層厳しさが増す状況が予想される。
107. <岡山県 倉庫 >  
年末商戦により一部の商材については、一時的に活発化したものの、全般的には大きく変わらず停滞が続  
く。また、海外輸出もアジアを中心に空コンテナ不足が続く、機会ロスの状況が続いている。
108. <鹿児島県 運輸・倉庫業 >

新型コロナウイルスの影響で食品は増加、雑貨は例年並みの物量だった。働き方改革で労働時間が改善されたが、長距離運行の備車確保が難しい状況になっている。

### その他の非製造業

109. < 宮 城 県            不動産            >  
家賃支援給付金の申請期限が迫り、管理会社の賃料実績証明書の発行も一段落した。しかし、新型コロナウイルスの影響による飲食店の営業不振は続いており、テナント解約が目立ってきた。
110. < 神 奈 川 県            不動産            >  
10月以降は売買では中古物件が動き出し、土地も建売業者の仕入れが活発になり、市場在庫も減少したようだ。賃料も築浅物件は回復してきている。体力が脆弱な地方の業者には、試練の年になるかと思う。
111. < 兵 庫 県            物品賃貸業        >  
新型コロナウイルス対策で、病院や介護施設での商品の使い方がいきなり変更になり、リース品から消耗品へ変更される例が出ている。一方で、消耗品の供給が安定せず、リース品の良さを見直す場合もある。
112. < 岡 山 県            信用組合            >  
現在の資金繰りについては融資により問題はないが、影響が続くことにより更なる悪化が懸念される。また本業支援など、組合内ビジネスマッチングの計画も進行し支援していく方針である。
113. < 広 島 県            不動産業            >  
不動産市場については、コロナ禍の影響による先行き不透明感はあるものの、低金利政策等により戸建て需要は堅調に推移しているが、分譲マンション販売については低調になってきている。
114. < 鹿 児 島 県            造園工事業        >  
造園業は、屋外作業がメインであるため3密を避けることができる。しかし、身近なところで感染が出ており、作業員の確保が厳しい業界であることから、ひとたび感染すると業務の停滞が懸念される。